

公益財団法人

全日本地域研究交流協会 提供するサービス (交流会・研究会等)



拝啓

貴社、益々ご清栄のこと、お喜び申し上げます。

公益財団法人全日本地域研究交流協会(JAREC)は、今般一般社団法人新技術協会を吸収合併して、発展的に業務展開することになりました。JARECは、2019年4月より、技術開発型企業等の皆様を対象に、JARECのネットワークを活用して「イノベーションを創出する人材育成研修」を新たに企画致しました。

つきましては、ご一読頂き、是非ご入会を頂きたく、お願い申し上げます。

平成31年4月吉日

お問合せ

公益財団法人 全日本地域研究交流協会(JAREC)
担当: 中崎正好・鈴木久美子
〒113-0034 東京都文京区湯島三丁目31番6号
TEL:03-3831-5911 FAX:03-3831-7702
E-mail:nakazaki@jarec.or.jp

SERVICE

全てのサービスは、それぞれの会社・機関で抱える課題を明確にし、これまで実践してきた経験豊かなメンターにより、その課題のソリューションを、随伴ガイドして導出し、具体的な実行計画として落とし込むものです。

1/

JARECの賛助会員への
サービス(法人・個人)

タイムリーな科学技術情報提供

イノベーションエコノミーの加速に向けて、大学等の研究成果の社会実装、民間の活用できる国の支援制度などの情報をタイムリーにお届けします。



2/

イノベーションを牽引する
創造型企業の経営幹部
による朝食交流会

年間 全12回

革新的な製品やサービスの実現を指向する創造型企業の経営幹部を対象にした、萌芽技術の開発現状を俯瞰する場を提供します。



3/

次世代を牽引する
創造型企業のリーダー研究会

年間 全9回(海外2回含)

創造型企業の次世代の技術経営を担う人材を対象に、自社の10年後を牽引するリーダーシップのあり方を検討し、Globalな視点での人材育成の場を提供します。



4/

知的財産の
戦略的活用研究会

年間 全4回×2日

知的財産を経営に積極的に活用する創造型企業で知財マネジメントを担う人材を対象に、自社の強み・弱みを分析し、個別企業の知財戦略の実践行動計画の策定を提供します。



5/

先端研究開発装置の
利活用研究会

年間 全2~3回×2日

スパコン、加速器、電子顕微鏡などの先端研究装置やその成果を民間企業が利活用促進を図る為、これまでの利活用成果、活用プロセスなど現地でのワークショップを提供します。



6/

グローバルな
イノベーションハブ形成の
加速に向けた政策研究会

年間 2回

各地域では特長ある産業の芽を出す為の研究開発拠点形成を促進していますが、イノベーションの加速に向け、民間企業と研究機関の補完的な共創連携を模索する場を提供します。



活動



設立

JARECは、地域において産業の芽となる科学技術を振興する際に、地域間の交流が重要と認識され、平成4年に全国14の道府県のご出損によって、文部科学省認可の財団法人として設立されました。その後、平成25年4月からは内閣府所管の公益財団法人に移行しました。また、平成31年4月からは、一般社団法人新技術協会の一部の業務を事業継承して、合併推進する事になりました。

目的

全国各地域において、科学・技術を駆動力とした地域の産業振興に係る調査研究を行うと共に、研修会・研究会を通じて総合な地域力の向上と、地域の産業振興に関連する情報の収集発信等の充実強化を図り、もって創造性豊かで持続的に発展する地域社会の公益増進の実現に寄与することを目的としています。

平成31年度からは、地域のイノベーションエコノミーに寄与する産業界の皆様との補完連携の強化を模索し、企業の皆様を対象にした研究会(朝食交流会・研究会)を強化することと致しました。

NETWORK



賛助会員への科学技術振興に関する情報提供サービス



■法人賛助会員*

イノベーションに関心のある
企業等法人格を持つ機関
年会費 50,000円

■個人賛助会員*

科学技術・産業振興に関心のある個人
年会費 5,000円

■寄付行為*

イノベーションを加速する為の活動
(公益目的事業に対する寄付)

*JARECの規定に基づき、理事会・評議員会に事業・決算報告

情報提供

- ① JARECの主催する研究会等のご案内
- ② JSTニュース・産学官連携ジャーナルの配布
- ③ JST公募事業(民間が活用可能なもの)紹介
- ④ JST・AMED成果報告会等紹介
- ⑤ 文科省イノベーションエコシステム報告会等
- ⑥ 経産省・農水省等の事業等

メーリングリスト等にて情報提供

交流会・研究会のご案内

- ① 朝食交流会への参加
- ② 創造企業のリーダ研究会への参加
- ③ 戦略的知財活用研究会への参加
- ④ グローバルなイノベーションハブ形成の
加速に向けた政策研究会への参加

コンサルテーション

- ① 地方自治体との連携模索
- ② 国の支援制度への応募支援
- ③ 大学・研究機関の特定分野の研究者の
サーチと大学等の窓口への繋ぎ

業務負荷に応じて実費精算

イノベーションを牽引する創造型企業の経営幹部による朝食交流会



革新的な製品やサービスの実現を指向する創造型企業の経営幹部を対象にした、萌芽技術の開発現状を俯瞰する場を提供します。

対象

創造型企業の経営幹部を対象に、技術経営の舵取りのヒントを得る
定員 **25名**

時間

8:30-9:00 朝食(8:30集合 帝国ホテル)
9:00-10:00 萌芽的技術(Emerging Technology)の話題提供
(技術開発現状を俯瞰して考察、未来を大胆に予測する)

朝食交流会の回数

全**12回**(代理出席可能)

特別個人枠の参加(先着5名まで)

1回の参加でも参加可能です。

回	月日	話題(案)	話題提供者(案)
1	4/12(金)	ヒト疾患モデル動物による創薬合理化	Stanford大学医学部 西村俊彦先生
2	5/10(金)	EV vs. FCV (Zero Emissionビークル) の行方	山梨大学燃料電池ナノ材料研究センター 飯山明裕先生
3	6/14(金)	農業の未来を支える技術開発	ICT系企業等
4	7/19(金)	完全自動運転を支える技術の現状と未来	自動車メーカー・ICT系企業
5	8/9(金)	脳波検出によるヘルスケア管理	阪大発ベンチャー企業
6	9/13(金)	AI技術の現状と将来像	東京大学等
7	10/11(金)	セキュリティを確保する技術開発	ICT系企業等
8	11/8(金)	IoTによるヘルスケアの高度化	ベンチャー企業等
9	12/13(金)	ゲノム編集技術とその適用の未来	東京大学等
10	1/10(金)	IPS細胞の医療応用を支える技術	慶應大学等
11	2/14(金)	シェアリングエコノミーを支える技術	シンクタンク等
12	3/13(金)	地方創生の加速化に向けた ICTの活用	ICT系企業等



次世代を牽引する創造型企業のリーダー研究会



創造型企業の次世代の技術経営を担う人材を対象に、自社の10年後を牽引するリーダーシップのあり方を検討し、Globalな視点での人材育成を提供します。

対象

創造型企業の次世代の技術経営・戦略を担うリーダーを対象に、リーダーシップとは何かを、日米欧の経験豊かなメンターから、暗黙知を俯瞰し形式知に落とし込み、“腑に落ちるリーダーの本質”を学ぶ（定員 20名）

国内研究会の時間

[1日目] (金) 15:00 アジア会館ホテル(六本木)等集合
15:00-18:00 研究会
[2日目] (土) 9:00-12:00 研究会
12:00-13:00 昼食
13:00-15:00 研究会 15:10 解散

※8月・1月・3月は(土)のみ

回数

年9回(うち2回は海外研究会)

回	月(曜日)	研究会の概要(案)	場 所
1	6月下旬 金-土 2日間	①研究会ガイダンス ②講師挨拶 ③自己紹介 ④リーダーの要件定義 Gr討議と発表 ⑤リーダーシップ発揮の場	アジア会館ホテル等
2	7月下旬 金-土 2日間	①事業開発に向けたリーダーシップの発揮の場の発見と実践方法模索 ②社会ニーズ→新製品・サービス→差別化技術開発(新事業創出へのシナリオ)	アジア会館ホテル等
3	8月下旬 土 1日間	UC San Diego リーダシップ研修の準備 ①Network強化 ②Alliance模索 ③シナリオ構想力 ④Facilitation力 ⑤ピッチプレゼンカ	アジア会館ホテル等
4	9月(1週間)	米国 UC San Diego JFIT 研究会 (Networking, CONNECT, Alliance, monetize、実践の場)	海外研究会(米国)
5	11月下旬 金-土 2日間	Roadmappingとは! ①作成ポイント ②活用方策 ③事例討議	アジア会館ホテル等
6	12月下旬 金-土 2日間	我が社の未来シナリオ Roadmapping 作成実践、プレゼン	アジア会館ホテル等
7	1月下旬 金 1日間	Cambridge大学 Roadmapping研究会準備	アジア会館ホテル等
8	2月(1週間)	英国 Cambridge大学 Roadmapping研究会	海外研究会(英国)
9	3月中旬 金 1日間	リーダー研究会のまとめ(気づきと実践の約束)	アジア会館ホテル等

知的財産の戦略的活用研究会



知的財産を経営に積極的に活用する創造型企業で知財マネジメントを担う人材を対象に、自社の強み・弱みを分析し、個別企業の知財戦略の実践行動計画の策定を提供します。

対象

技術開発型企業において、次世代の知財戦略を担う職員を対象に、経営戦略に知財戦略を統合して実践する為の方法を、個々の企業の抱える課題に対し、戦略的に実践してきたメンターの指導を受ける（定員 20名）

時間

【1日目】（金） 15:00 集合
15:00-18:00 知財戦略研究会
（宿泊は参加者自身で手配負担）
【2日目】（土） 9:00-12:00 知財戦略研究会

回数

年間4回×2日間

回	月(曜日)	研究会の概要(案)	場所
1	6月 金-土(2日間)	【1日目】 15:00 集合 15:00-18:00 講義 知財の戦略的活用とは? 自己紹介	川崎市キングスカイフロント地域 (川崎市殿町)または、川崎駅近郊
		【2日目】 9:00-12:00 Gr討議 知財の経営戦略へ活用を問う、課題整理	
2	8月 金-土(2日間)	【1日目】 15:00 集合 15:00-18:00 自社の知財戦略の課題抽出(宿題の発表)	川崎市キングスカイフロント地域 (川崎市殿町)または、川崎駅近郊
		【2日目】 9:00-12:00 知財の戦略的活用のあり方(強み・弱み Gr討議)	
3	10月 金-土(2日間)	【1日目】 15:00 集合 15:00-18:00 PJメンバーへの知財戦略ベクトルの向け方(個人の活動強化)	川崎市キングスカイフロント地域 (川崎市殿町)または、川崎駅近郊
		【2日目】 9:00-12:00 ビジネスモデルへの知財の組込(電機等ものづくり)	
4	12月 金-土(2日間)	【1日目】 15:00 集合 15:00-18:00 ビジネスモデルへの知財の組込(バイオ・医療・ヘルスケア)	川崎市キングスカイフロント地域 (川崎市殿町)または、川崎駅近郊
		【2日目】 9:00-12:00 組織としての戦略的知財活動の強化(まとめ)	

先端研究開発装置の利活用研究会



スパコン、加速器、電子顕微鏡などの先端研究装置やその成果を民間企業が利活用促進を図る為、これまでの利活用の成果、活用プロセスなど現地でのワークショップを提供します。

対象

技術開発型企業において、次世代の技術戦略を担うリーダを対象に、国等の大型研究施設を活用することで新製品化に成功した事例に基づき、自社の開発にその大型研究施設の利活用方策を模索する。（定員 30名）

時間

【1日目】 15:00-18:00 大型研究施設を利活用した技術開発事例検討
 【2日目】 9:00-15:00 国の大型研究施設等の利活用方策模索ワークショップ

回数

年2~3回×2日間

回	月	研究会の概要(案)	場 所
1	7月(2日間) 放射光装置の利活用	【1日目】 15:00 神戸駅集合 15:00-18:00 SPring-8の活用事例	神戸地域
		【2日目】 9:00-12:00 住友ゴム工業(株)タイヤ工場視察 12:00-13:00 昼食 13:00-15:00 SPring-8・京コンピュータ活用法 15:30 神戸駅解散	
2	10月(2日間) 川崎キングスカイフロント 先進医療・創薬開発現場 ウォーキング	【1日目】 15:00 川崎駅集合 15:00-18:00 キングスカイフロントの全体像・iCONM	川崎市殿町地域
		【2日目】 9:00-12:00 実中研・国営研・アイソトープ研等の活用法 12:00-13:00 昼食 13:00-15:00 民間企業の視察と補完連携(アライアンス)模索 15:30 川崎駅解散	
3	1月(2日間) ゲノム編集の農業分野への応用	【1日目】 15:00 つくば駅集合 15:00-18:00 ゲノム編集の農業技術への応用講義	筑波地域
		【2日目】 9:00-12:00 農研機構内のゲノム研究施設活用法 12:00-13:00 昼食 13:00-15:00 筑波大学におけるトマトへの適用 15:30 つくば駅解散	

グローバルなイノベーションハブ形成の加速に向けた政策研究会



各地域では特長ある産業の芽を出す為の研究開発拠点形成を促進していますが、イノベーションの加速に向け、民間企業と研究機関の補完的な共創連携を模索する場を提供します。

対象

科学技術をベースに地域の産業の芽を出す仕組みを研究する会であり、地域の自治体、企業、大学、及び中央官庁の関係者など多様なステークホルダーが一堂に会して、それぞれの部門からの話題提供と真剣な議論を通じて、地域においてグローバルなイノベーションハブの実現に向けた政策の立案とPDCAを廻す仕組みを検証する。(定員 150名)

回数

年2回

9月(1日間): 文部科学省、経済産業省、農林水産省、厚生労働省、総務省等の重点施策セミナー

2月(2日間): 地域においてグローバルなイノベーションハブ拠点形成を目指した政策研究セミナー

回	月	研究会の概要(案)	場 所
1	9月(1日間) 先端医療・創薬のグローバルな 拠点構築セミナー	【1日目】 13:00 集合 13:00-16:00 各省庁*の施策説明と活用討議 16:00-18:00 イノベーションに関わるワークショップ *内閣府、文科省、経産省、農水省、厚労省、関連研究開発法人施策等	川崎市キングスカイフロント地域
2	2月(2日間) 川崎キングスカイフロント 先端医療・創薬クラスターの構築	【1日目】 13:00 集合 13:00-14:00 基調講演(ドイツに学ぶクラスター政策等) 14:00-18:00 各省*の次年度のイノベーション施策 【2日目】 9:00-12:00 地域イノベーションに向けたクラスタリング活動 12:00-13:00 昼食 13:00-15:00 先端医療・創薬関連機関でのワークショップ 15:30 川崎駅解散 *内閣府、文科省、経産省、農水省、厚労省、関連研究開発法人施策等	川崎市キングスカイフロント地域

賛助会員(法人・個人)会費、 朝食交流会・研究会への 参加費(1人当り)



ENTRY FEE

1/

JARECの賛助会費(法人・個人)

法人賛助会員 50,000円(年会費) | 個人賛助会員 5,000円(年会費)

2/

イノベーションを牽引する創造型企業の経営幹部による朝食交流会の参加費

賛助会員 150,000円(全12回) | 非会員 200,000円(全12回)

特別個人枠の参加費(先着5名) 20,000円/1回 ※賛助会員・非会員同額

3/

次世代を牽引する創造型企業のリーダ研究会の参加費

賛助会員 [国内研究会のみ] 350,000円

[海外研究会] (海外渡航・滞在費・現地研究会費用は実費請求)

非会員 [国内研究会のみ] 400,000円

[海外研究会] (海外渡航・滞在費・現地研究会費用は実費請求)

4/

知的財産の戦略的活用研究会の参加費

賛助会員 200,000円 | 非会員 250,000円

5/

先端研究開発装置の利活用研究会の参加費

賛助会員 50,000円/1回 | 非会員 70,000円/1回

6/

グローバルなイノベーションハブ形成の加速に向けた政策研究会の参加費

地方自治体、大学高専、中央官庁関係者は参加費無料

民間企業、金融関係者は参加費 20,000円/1回 ※賛助会員・非会員同額
(尚、交流会、弁当は実費、宿泊は参加者自身で準備)

賛助会員及び各サービスの申込み

にレを チェックし、FAXまたはE-mailで(nakazaki@jarec.or.jp)宛て、お送りをお願いします。

会員／各サービス 申込書

E-mail 送付先 nakazaki@jarec.or.jp

JAREC賛助会員ご入会

- 法人賛助会員** 年会費 50,000円を申し込みます。
 個人賛助会員 年会費 5,000円を申し込みます。

御社名

ご所属

お名前

連絡窓口部署

連絡担当者

電話

FAX

E-mailアドレス

(注1)お申込みは、本様式にご記載頂き、FAX、または、E-mailにて、nakazaki@jarec.or.jp 宛てお送り願います。

(注2)朝食交流会・研究会は少数精鋭の研究会として推進をさせて頂くものとします。

FAX 送付先 03-3831-7702

朝食交流会・研究会への参加お申込み

- 2/** イノベーションを牽引する創造型企業の経営幹部による朝食交流会
- 3/** 次世代を牽引する創造型企業のリーダー研究会
- 4/** 知的財産の戦略的活用研究会
- 5/** 先端研究開発装置の利活用研究会
- 6/** グローバルなイノベーションハブ形成の加速に向けた政策研究会

(注3)お申込みをされた方には、別途 架電・E-mail等によりご確認させて頂き、会費をご請求申し上げます。

(注4)ご不明な点は、当協会 中崎宛て(nakazaki@jarec.or.jp)まで、お問合せ願います。